

2012年 7月 活動

2012年7月2日

● 霊山 PJ 会議6月 23 日現地で開催！

第2回霊山プロジェクト会議を去る6月 23 日(土)、福島県伊達市下小国の山下公民館で、下小国地区協議会(大沼 豊代表)と当協会の共催により開催しました。同会議には、野池達也・東北大学名誉教授はじめ、佐藤茂夫・代表理事など REPA メンバー9名と地域住民を含め、計 25 名が参加しました。

会議では、野池教授によるメタン発酵に関する基礎講座(メタン発酵寺子屋教室)のほか、佐藤代表によるバイオガス製造装置の運転管理に関するオリエンテーションなどが行われた後、バイオガス製造装置の稼働開始に向け、種汚泥の取扱や各設備配置等の最終確認、提供水田における除染作業の最終確認作業が行われました。

このバイオガス製造装置は、U字溝で密封した空間にメタン発酵槽等の主要設備を収納して放射能に汚染された物質の対外漏出を防護し、太陽光発電やガスエンジン排気等で加温する仕組みで、発電機などを除き、ほとんどが手作りで皆が使える簡易な装置です。

今後、種汚泥を投入後、バイオガス発生量を確認し、食品廃棄物や放射能で汚染された有機物などを投入し、バイオガスや発酵残渣中の放射性物質のデータを取得していく計画です。バイオガスの発生確認および投入物の安定的な確保、放射線関連データの測定、蓄積、分析などを課題として取り組むこととなります。次回会合は8月末～9月上旬を予定しています。

霊山会議の様相

		
メタン発酵寺子屋教室で講義中の様子	山下公会堂で集合写真	綿密に打ち合わせする野池教授(左)と大沼 豊氏

バイオガス製造装置

		
バイオガス製造装施設全景	小型エンジン	佐藤代表が指導して製作した手作りの太陽光パネル

除染対象の水田

		
<p>試験作付された水田</p>	<p>除染実証の対象水田</p>	<p>大波盛雄氏(中央)と、除染方法・手順を綿密に打ち合わせ</p>